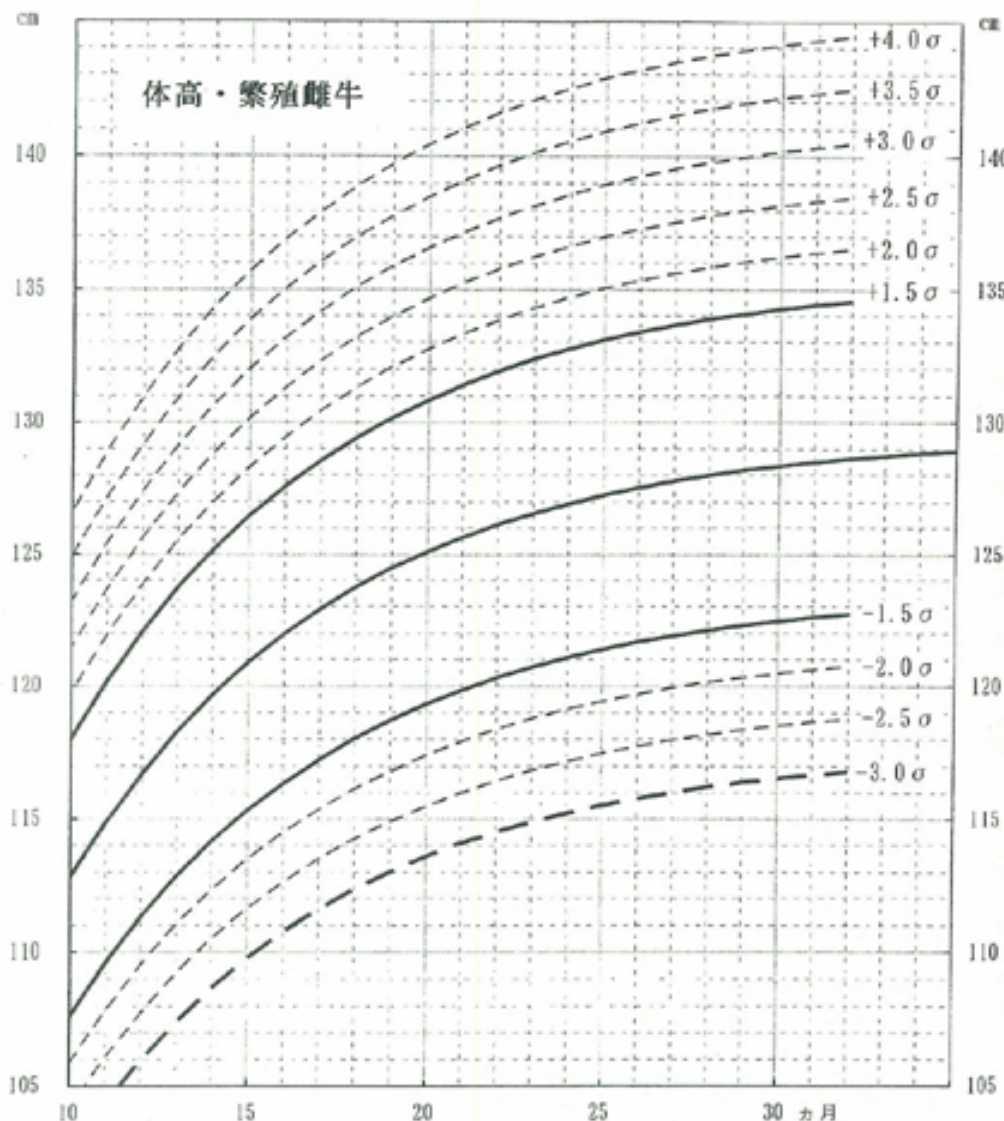


黒毛和種審査標準

(平成16.4.1実施)



◎登録審査時の発育基準

- 体高が各月齢において、発育曲線の上限、下限の間にあるものは、減率加算しない。ただし、上限をオーバー、または下限に達しない場合は、 $\pm 2\sigma$ 以内なら減率1%、 $\pm 2.5\sigma$ 以内なら2%、 $\pm 3\sigma$ 以内なら3%を体均の減率に加算する。 $+3\sigma$ 以上のものについては、 0.5σ を踏えるごとに1%ずつを体均の減率に加算する。
- 体高が各月齢において、 -3σ 未満のものは審査の対象としない。

◎栄養過多牛ならびにやせすぎの牛の減率加算 (体格・均称の項目に加算)

- 栄養過多牛
 - 栄養度7の場合: 1%
 - 栄養度8の場合: 3%
 - (資質・品位の項目においても考慮する)
 - やせすぎの牛
 - 栄養度3の場合: -1%
 - 栄養度2の場合: -2%
 - (体型のしっかりしたものに限り、なお、このような加算をした牛の場合、肩幅、前骨幅、腿の深さを審査する場合は、やせていることを若干考慮にいれて、これを行う)
- 栄養度1 (非常にやせている) および栄養度9 (非常に太っている) に該当するものは、原則として栄養改善のうえ、受審するよう願われる。

項目	説明	減率加算				
		雌	雄	普通	優良	優良
体格・均称	発育良好で、体幅広く、深く、伸びよく、体格豊かなもの。頭、頸、体幅、脚長相互の割合および前、中、後脚の割合よく、体上座、体下座ともに平らで、肉用体型を備えたもの。栄養適度で、肉付均等、各部の移行ならかなもの。輪郭鮮明で体ゆるくなく、資質よく、品位に富み、雌雄それぞれの作用を現わし、性質温順なもの。	20	20	20	17	6
資質・品位	被毛は黒く、わずかに褐色をおび、光沢があり、細く柔らかく、密生しているもの。皮膚はゆとりがあり、厚さ適度で、柔らかく、弾力に富むもの。	17	18	20	17	6
頭・頸	頭部は体幅に割合よく、形よく、鮮明なもの。額は平らで広く、眼はいきいきとして溫和なもの。額は豊かで、顎は張り、鼻樑は長さ適度で、口の大きいもの。角は色沢良好で、形のよいもの。耳は大きさ中等、形のよいもの。頸は短かめで、頭部と前脚との移行よろしく、腿では厚さ適度で、頸筋少なく、腿では厚く、頸部と胸系とは適度に発達しているもの。	5	6	22	20	10
前脚	幅と張りともに富み、充実に、深いもの。胸は広く、深く、胸底平らで、胸前と肘後との充実にしているもの。肘は「きこう」厚く、付着よろしく、ほどよく傾斜し、肩峰の突出していないもの。肘後は充実にしているもの。	10	10	18	16	6
中脚	幅と張りともに富み、深く、伸びのよいもの。背筋は広く、長く、強く、平直で、後脚への移行のよいもの。肋は角度大でよく張り、長く、肋間広く、付着よろしく、表面のならかなもの。腹は豊かで、ゆるくなく、下付ん部の充実にしているもの。	14	14	16	14	4
後脚	脚角、かん、坐骨ともに幅広く、長く、傾斜少なく、形よく、充実にしているもの。脚角は突出せず、十字部は平らで、せん骨は高くなく、尾杖のないもの。尾は付着よく、まっすぐにさがつたもの。	10	10	22	19	10
腿	上腿、下腿ともに広く、厚く、充実に、腿さがりのよいもの。	10	10	23	20	10
乳房・性器	乳房は均等によく発達し、柔軟で弾力があり、乳房は配置よく、大きく、柔らかで、乳脈は太く、長いもの。性器は正常なもの。	8	4	20	19	6
肢蹄・歩様	肢はその長さ体の深さに割合よく、肢勢は正しく、筋けんと同節とはよく発達しているもの。蹄は黒く、大きく、質もみつなもの。歩様は確実で、肢の運びのまっすぐなもの。	6	8	22	20	12
満点		100	100	98.0	92.5	92.5 (92.5)

成牛 (雌35カ月、雄40カ月) の体型および体重の目標

性	体高	十字部高	体長	胸圍	胸深	胸幅	尻長	腰骨幅	かん幅	坐骨幅	体重
雌	129	129 (100)	160 (124)	198 (153)	71 (55)	51 (40)	54 (42)	55 (43)	50 (39)	35 (27)	540
雄	145	142 (98)	180 (128)	244 (188)	83 (57)	62 (43)	61 (42)	59 (41)	58 (40)	41 (28)	900

注 (1) 目標値はすべて平均値を示している。 (2) 単位cm、体重kg、() 内に体高比。

◎総合部位における重点のおき方

- 資質・品位 資質に1、品位に1のウエイトをおく
- 前脚 胸に2、肘に1のウエイトをおく
- 中脚 背筋に2、肋筋に1のウエイトをおく

◎測定部位および減率記載項目

- 測定部位
 - 種雄牛、何れ種牛、審査得点33点以上の登録牛 (高等登録牛を含む) の場合は全部位および体重。以上の牛以外の場合は体高、胸圍、胸深、尻長、かん幅および体重。記載法審査の場合は体高、体長、胸深、かん幅、坐骨幅および体重。なお体重については、牛胴部で測定したもの (牛胴部のない場合は秤量しなくても可むを得ない)。
- 栄養度
 - 栄養状態を、2 (やせている)、3 (やややせている)、4 (やや良味)、5 (普通)、6 (太り良味)、7 (やや太っている)、8 (太っている) の数字で示す。
- 減率記載項目
 - 体格・均称、資質・品位、中脚および腿については、すべての牛について、その減率を記載する。その他に特別の優点と欠点があれば、その減率を併記する。審査得点33点以上の登録牛と、種雄牛、高等登録牛は全部位の減率を記載する。